ひとりぼっちをつくらない地域づくり No.251

受講生募集

皆さまからの赤い羽根共同募金で実施します

手話入門講座

■と き■ 平成29年9月4日(月)~平成30年2月26日(月)

毎週月曜日 19:00~21:00 全20回 ※祝日・年末年始は休講

■ところ■ 障害者ふれあいセンター 2階 多目的室

■受講費■ 5.000円 (DVDテキスト・資料代)

■定 員■ 町内在住、在勤の15歳以上の方、20名程度

(講座終了後、ボランティア活動していただける方優先)

■講 師■ 稲美町ろうあ協会

切■ 平成29年8月28日(月)

VOICE

皆さんはどのようなコミュニケーションをとっていますか? 声を出して、耳で聞いて、というコミュニケーションですね。 「手・指・体・顔」の表情を使って、コミュニケーションをとる 「視覚言語」をご存知ですか?手話入門講座で、この「視覚言 語」を使って、聞こえない講師とコミュニケーションをとりませ んか?皆さんといろいろなお話ができたら嬉しいです。 ぜひこの講座にご参加ください。お待ちしています。



編集発行/問合・申込)社会福祉法人 稲美町社会福祉協議会

〒675-1105 兵庫県加古郡稲美町加古4369-3 障害者ふれあいセンター1階 TEL079-492-8668 FAX079-492-9170 Eメール inami-shakyo@bb.banban.jp (社協事務局 開館時間)月~土(日祝以外) 8:30~17:15

ボランティアページ no.145

VOICE

善意銀行では、皆 さまの「何か役に い] というあたた かいお気持ちを金 銭や物品としてお 預かりしています。

善意の預託ありがとうございました

社協だより

	(平成29年6月受付分)		
金銭 寄附	氏 名(敬称略)	金額	内容
	稲美町立ふれあい交流館サークル連絡会	¥10,000	寄附
物品 預託	氏 名(敬称略)	物品	内容
	匿名	肌着多数	寄附

義接金募集

平成29年7月大雨災害義援金

平成29年7月5日からの大雨により、福岡県、大分 県で甚大な被害に遭われた皆さまを支援するため、 稲美町共同募金委員会(稲美町社会福祉協議会)で も、義援金の受付をしています。

皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

■受付期間:8月31日(木)まで

月~土曜日8:30~17:15

祝日除く

■受付場所:障害者ふれあいセンター 1階

社会福祉協議会事務所 稲美町加古4369-3

TEL492-8668/FAX492-9170

※本会を通さずに直接指定口座に振込みをすること も可能です。振込口座などの詳細は、以下のホー ムページをご覧ください。

・福岡県共同募金会ホームページ

・大分県共同募金会ホームページ

・中央共同募金会ホームページ

※義援金は所得税控除の対象となります。



平成28年4月14日に発生した地震に より被災された方を支援するための 「平成28年熊本地震義援金」に

つきましても継続して受付しています。

■受付期間:平成30年3月31日(土)

まで

皆さまからの福祉会費で実施する事業です

毎月第2金曜日は

- 8月はお休みです
- **9/8(金) 大正琴かふ**え (和みの会)

◆と き 原則毎月第2金曜日 10:00~11:30 ◇ところ 障害者ふれあいセンター

2階 多目的室

◆利用料 フリードリンク 100円 (お茶菓子付)

♪我が家のスマイル リレーでつなごう♪



飯田 理来ちゃん(7歳) 優里ちゃん(5歳)

いつも仲良しな2人♡ これからも姉妹仲良く、 元気に成長してね!!

8月12日(土)いなみ大池まつり 社会福祉協議会も出店しています♪

ポップコーンとラムネの お店にぜひ来てね♪

8月、夏休み真っ盛りですね。
夏休みの思いい。

夏休みの思い出と言えば、夏祭りや縁日での屋台。私は金魚すくいが好きで、泳

ぐ金魚を見ると胸がわくわくします。 金魚すくいから持ち帰った金魚たちを家の水槽に入れてよく眺めていたことや、大きく育てるのは難しかったことなどを思 い出します。みなさんは夏祭りで好きなものはなんですか?(R.T)

編集発行/問合・申込)社会福祉法人 稲美町社会福祉協議会

〒675-1105 兵庫県加古郡稲美町加古4369-3 障害者ふれあいセンター1階 **TEL079-492-8668** FAX079-492-9170 Eメール inami-shakyo@bb.banban.jp (社協事務局 開館時間)月~土(日祝以外) 8:30~17:15

※社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に基づき、すべての市町村に設置されている住民の立場から福祉を推進する団体です

「岐路」「分かれ道」

生きづらさを抱える成人をもつ親のつどい

VOICE

「おもちゃライブ ラリー」には、自分 で買うにはちょっ と高価な北欧のぬ くもりある木のお もちゃがたくさん ありますよ。

子どもたちは、お もちゃを通して楽 しく遊び、お母さ んたちには交流の 場となれば…と同 世代のママたちが 運営しています。 (スタッフ)



平成29年8月1日

参加者・スタッフ募集) 月1回 親子でほっこり遊びに来ませんか

木のおもちゃに癒される場とがまた。

【日時】 毎月第1金曜日 10:00~11:30 ※幼稚園・小学校の行事により、第3への変更あり

【場所】 稲美町立加古福祉会館

【平成29年度 今後の開催日】

- 8 / 4 (金)
- 9/15 (金) 第3に変更
- ●10/6(金)
- ●11/17(金)
- ●12/15 (金) クリスマス会
- 1/19 (金)
- 2/2(金)
- 3 / 2 (金)







わだい

福祉学習を終えて

◆加古小6年生の皆さんから講師の佐竹氏と 社協宛にお手紙が届きました



・出来なくて難しいこと があっても、それを受 け止め、いろんなこと に挑戦することを学び ました。

障害者は何もできない、 という考え方はしては いけないことだと改め て思いました。

・この機会で私は「心のバリアフリー」を学びました。 私は「手伝いましょうか」など声をかけてあげること が「心のバリアフリー」だと思いました。

◆7/20(木)

介護ボランティアポイント事業説明会

♪ママの息抜きに

お友達の輪も

広がりますよ~

講師:田川 雅規 氏 参加者:15名



「わたしの得意が役割 に」と題して、田川氏 にお話していただきま

相手を尊重しながら、 自分自身もいきいき活 動するためのコツや心 得について学びました。

次回、介護ボランティアポイント説明会

と き 8月18日 (金) 10:00~11:00 ところ 障害者ふれあいセンター

◆原則毎月第2水曜日 10時~12時 牛きづらさを抱える成人をもつ親のつどい

次回は8/9(水) 障害者ふれあいセンターにて 予約不要、参加費無料 親の会ブログ http://tudoi173.exblog.jp/

いつでもお越しください。 発達障害などのため、ちょっとした違

1人のお母さんからの呼びかけと社会福祉協議会のご協力で始まった「生き づらさを抱える成人をもつ親のつどい」。

成人した子供のことで悩んでいる親のために愚痴や情報交換ができる場が欲

参加者はみんな同じ立場の方ばかりです。「解決できます」とは言えませんが みんなで知恵を出し合ったら何かのきっかけぐらいは見つかるかもしれません。 本やネットもいいですが同じ地域の生の声もお役に立てればと思います。悩み の状況は違っても共感しあったり、経験してきたことから何か参考になることを

【お悩み事例】

持つ親の会です。

- ・引きこもり ・軽度の障害
- ・精神疾患 ・学校生活

・病院や施設の情報など

- ・仕事関係 ・人間関係 ・公的手続き ・様々な制度

いで社会とうまく距離がつかめないな

どの困り感をお持ちの成人の子どもを

~過去のブログより(一部抜粋)~

しい!!親だって悩んでいるんです!!でもどうすればいいの???

伝えられることもあります。 もし一人で悩まれているようでしたらちょっとドアをノックしてみませんか?

編集発行/問合・申込)社会福祉法人 稲美町社会福祉協議会

〒675-1105 兵庫県加古郡稲美町加古4369-3 障害者ふれあいセンター1階 (社協事務局 開館時間)月~土(日祝以外) 8:30~17:15 ※社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に基づき、すべての市町村に設置されている住民の立場から福祉を推進する団体です

TEL079-492-8668 FAX079-492-9170 Eメール inami-shakyo@bb.banban.jp

[第251号]

ふくし豆知識 YES? NO?

想像してみてください「あなたは・・・被災者」です。

地震で自宅は半壊状態。家族そろって避難所へ。 日頃の備えが幸いして、非常持ち出し袋には水も食料も3日分はある。 一方、避難所には水も食料も持たない家族が多数。

> その前で非常持ち出し袋を開ける? YES(開ける) もしくは NO (開けない)

「あなたは・・・町民 | です。

大きな地震のため避難所(小学校の体育館)に避難しなけれ ばならない。しかも家族同然の飼い犬「もも」(ゴールデン レトリーバー、メス3歳)がいる。

一緒に避難所に連れて行く? YES(連れて行く) もしくは NO (連れて行かない)

このような問題を目の前に、 あなたはどういう選択をするでしょうか?

災害時は、さまざまな選択を迫られる状況に遭遇します。どちらを 選んでもジレンマや何らかの犠牲をともなう難しい決断をしなけれ ばならないことが多くあります。

この「クロスロードゲーム」では、「決断をする」ことを疑似体験でき、かつ、なぜその答え を選んだかをお互いに話し合うことで、さまざまな学びにつながります。

【メリット】

- ●防災を「自らの問題」として考えることができる。
- ●自分とは異なる意見や価値観があることに気づく。
- ●少数意見にも耳を傾け、受入れ調整していくことの大切さを学ぶことができる。

「震災後」ではなく、常に「震災前」であるという意識を持つ機会に あなたの自治会でも「クロスロードゲーム」を取り入れてみませんか?

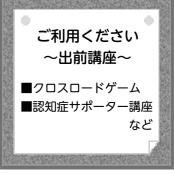
七軒屋自治会 いきいき広場にて クロスロード出前講座を開催しました

(H29.6.27 参加者25名)

意見が活発に出て、楽しみながらも真剣に議論してお られました。

【参加者の声】

- ・人それぞれ色々な意見があることがわかった。
- ・避難のときには、大きなビニール袋を持っていった方 がよい。場合によっては防寒着になる。





編集発行/問合・申込)社会福祉法人 稲美町社会福祉協議会

〒675-1105 兵庫県加古郡稲美町加古4369-3 障害者ふれあいセンター1階 TEL079-492-8668 FAX079-492-9170 Eメール inami-shakyo@bb.banban.jp (社協事務局 開館時間)月~土(日祝以外) 8:30~17:15

※社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に其づき、すべての市町村に設置されている住民の立場から福祉を推進する団体です